

第4回 豊川市本庁舎等整備基本構想・基本計画策定委員会 議事録

1 開催日時 令和6年2月16日（金）午後3時00分～午後4時30分

2 開催場所 豊川市役所本庁舎 本31会議室

3 出席者（敬称略）

【委員】11名 宇野 勇治（委員長）、益尾 孝祐（副委員長）、竹本 秀邦、田中 みや子、
中田 紘八、橋本 記久子、長谷川 完一郎、伴野 雅章、渡邊 万美子、
相原 俊彦、尾崎 幸弘

【事務局】11名 桑野副市長、田中副市長
財務部 木和田財産管理監、手塚次長
財産管理課 小野課長、伊藤主幹、村田係長、竹下、横田
ランドブレイン㈱ 伊藤、井上

4 議題

(1) 開会

(2) あいさつ

(3) 議事

(1) ワークショップからの提案等について

- ・市民・職員ワークショップの開催結果について
- ・議会照会調査結果について
- ・新本庁舎の導入機能・性能への反映（案）について

(2) 基本計画（検討案）について

- ・新本庁舎の整備計画（案）について

(4) その他

(5) 閉会

5 議事内容

■(1) 開会

事務局より、開会の挨拶。

■(2) あいさつ

桑野副市長より、挨拶。

■(3) 議事

(1) ワークショップからの提案等について

事務局より、資料1「市民・職員ワークショップの開催結果」、参考資料1「本庁舎等整備ニュース」、資料2「議会照会調査結果」、参考資料2「本庁舎等整備における基本計画策定に向けた要望書」、資料3「新本庁舎の導入機能・性能への反映（案）」について説明。

(質疑応答)

【副委員長】	資料3の2ページ目、⑪に「気軽に集い休憩することができるスペース」とありますが、休憩だけだと、ただ座っているだけの話になりそうなので、後半でもイベント等にも活用できる多目的なスペースと書いてあるので、休憩も含み、「集い交流することができる」ぐらいの表現の方がいいと思います。
【事務局】	ご意見を踏まえて修正し、委員の皆様にご確認いただきたいと思います。
【副委員長】	「安全安心と柔軟性を備えた庁舎」について、資料3の3ページ目、方針4の②、水防対策というところで、地下はつくらないということにきつとなると思うのですが、そのあたりを水防対策という言葉に含んでいるということでしょうか。 今後の配置計画などで、地下をつくるか、つくらないかということに影響するので、いかがでしょうか。
【事務局】	昨年の6月2日に豊川市では大雨災害があり、水害に対する対策というのは当然考えていかなければならないと考えています。特にこの市役所庁舎付近では、何十年、何百年に1回かもしれませんが、ハザードマップ上では1メートル弱の浸水被害が想定されるという結果も出ています。そうしたことから、防災センターの整備については、周辺の敷地から1メートル程度、FL（フロアライン）を上げる形で施工しています。新庁舎についても、そういったことを踏まえ、当然水害に対する対策というのは検討しなければならないと考えています。
【委員長】	市民ワークショップでは、魅力ある庁舎ということで色々なご意見を挙げていただいていると思いますが、今回基本理念ということになりますので、どこまで書けるの

	かというのがあると思うのですけれども、どこまで今、反映されているのでしょうか。現状、これだけ沢山のご意見をいただきながら、1項目しか入っていないので、その辺りをもう少し、市民のご意見をこのような形で反映しましたよ、という姿が作れるといいと思いますが、いかがでしょうか。
【事務局】	まず、基本理念については3つ、基本構想の時に定めさせていただきました。1つ目が「すべての人にやさしく開かれた庁舎」、2つ目が「安全安心と柔軟性を備えた庁舎」、3つ目が「最先端かつ健全な市政を支える庁舎」という基本理念があり、3つの基本理念の下に、それぞれ3つの方針を定めています。今、基本計画という中であまり細かなところまでの表現というのは難しく、それぞれいただいたご意見について、大きなキーワードで拾えているのかという観点で、1つ1つ判断しました。その中で、今まで出て来たキーワードから、少し足りないところについて、今回黄色塗りの修正箇所としてお示しさせていただいたところです。 委員長のおっしゃる通り、沢山のご意見をいただきましたので、設計の段階では設計業者にそのまま提示するなど、市民の意見、それから議会からの意見、そして若手職員からの意見を設計として表現するなら、どのようになるのかというところは、今後も引き続き検討していきたいと思います。現時点では少し少なく感じるかもしれませんが、決して無駄にしないように進めてまいります。
【委員長】	桑野副市長からの話にもありましたが、色々な市庁舎を視察されたということですが、そういったところの資料や、良いところと、こう反映されているといったことはありますか。
【事務局】	職員それぞれが色々な庁舎を見ておりますので、個人ごとに感じた良いところと、悪いところがあったと思います。 特に窓口の設置について勉強になったと感じたのが、伊丹市の視察です。伊丹市は人口が20万人近く、豊川市とほぼ同じ人口規模ですが、伊丹市の市民フロアの窓口の考え方というのは、主にワンフロア型の受付をしますが、そのうち、おくやみコーナーのようなものをワンストップ型として作る、ワンフロアとかワンストップだけに限らず、それを融合できるような窓口を作るという新しい窓口の考え方として、1つの事例を勉強しました。その事例については、庁内検討作業部会の中でも、どちらかに限るのではなく、融合ということも選択肢としてあるということを伝えながら、議論した経緯があります。この策定委員会でそこまでのご報告ができなかったことは反省し、そのような場があればお伝えできるようにしていきたいと思います。

【 委 員 長 】	せっかく色々と視察に行かれていると思うので、もちろん言葉として書き込んでいくことも大切ですし、設計者に伝えられるメッセージだと思いますので、例えば視察資料があつて、所感や写真といったものがまとめられていると、今後、豊川市が何々がしたいとか、伝わりやすいかなと思うので、ぜひご検討いただければと思います。
【 事 務 局 】	承知いたしました。
【 委 員 】	市民のワークショップと、職員のワークショップをよく見ると、何となくみんなが同じことを言っているように感じました。市民の人も職員の人も暗いので明るくして欲しいと言っていたり、市民の人は場所が分かり難い、職員の人は案内し難いと、同じことを感じていると思うことが多々あるので、それらをしっかり反映して欲しいと強く思います。 この中であれ？と思ったのが、「庁舎に滞在する」という考え方についてです。何かの手続きに来るだけではない庁舎という考え方について、市民の方から滞在するということは考えたことはありますかと言われて、滞在するということは考えたことがなかったなと思って、滞在すると思った時に、どのようなになっていくのかなというところを、これから少し考えていってもらえるといいのではないかと思います。
【 事 務 局 】	滞在という部分では、休憩フロアといったところをイメージされているのかと思います。それから、利用しやすい待合コーナーといったところで、待ち時間が仮にあったとしても、なるべくその時間を無駄に感じないようなしつらえだったり、家具什器だったり、色々なことが考えられると思います。今世間では「3ない窓口」の実現、「書かせない・待たせない・来させない窓口」という考え方もございます。そういったことも念頭に考えていきますが、当然待ついただくことはどこかであると思いますので、不満に感じないような、どのような対策でそれらが解消できるのか、これからしっかり検討していきたいと思います。

(2) 基本計画（検討案）について

資料4「新本庁舎の整備計画（案）」について事務局より説明。

（質疑応答）

【 委 員 】	まだ先の話だと言われると思うのですが、例えば新庁舎ができた時に、北庁舎は今までどおり残っていますが、新庁舎は市民が来る場所を前提として作られるわけでしょうか。市民が来る場所は新庁舎、今の北庁舎は職員だけが使うような
---------	--

	場所になるみたいな、そのようなゾーニングは考えていますか。
【 事 務 局 】	新庁舎を建設する際のフロアごとの考え方として、市民の方がよく利用されるゾーンは、まず低層階に設けるという発想が1つあります。そういう意味では新庁舎の低層階に市民の方がより来られる窓口を多く配置することはもちろんですが、横に動くことはあまり苦にされないということも、ご意見としていただいています。上下の移動は、階段を使ったり、エレベーターもありますが、なかなか苦にされることも多いと聞きます。北庁舎の1階、2階についても、低層階という意味では横のつながりという意味で、職員だけが使うゾーニングにするよりは、市民の方も使えるような窓口の設置ということも考えた方がいいと考えていますが、それは設計の中で、どのようなフロアにどのような機能を入れるか検討した上で作りたいと考えています。極端に、職員だけで使う庁舎とか、例えば市民だけが使う庁舎という切り方はなかなか難しいのかなと思っています。
【 委 員 】	昨年、豊川警察署が新しい庁舎になって素敵だなと思いました。現在の市役所も非常に環境も良くて、多目的トイレも綺麗になっています。正直自分が委員という立場にならなければ、「市役所っもう建て替えるのか?」と感じてしまうのではないかと思います。よくよく見ると、地震対策で補強がしてあったり、ここで色々な説明を聞くと、やはり今がチャンスだということで進められていて、いいのではないかと思います。 今日3つの場所の提案があって、一番大きな問題じゃないかと思います。ワークショップなどで色々な意見が出て、どれも素敵な意見でした。 このA案、B案、C案、新庁舎をどこに建てるかというのは、私個人の意見としては完全にA案しかないと思いました。もし更地で何もなければC案かもしれません。理由としてはやはりワンフロア、1階の面積を非常に大きく確保できるというのが大きな条件です。震災後、やはり上に積み上げれば危険で、電気が止まればエレベーターも止まります。 まず一番初めにワンフロア、そして次に景観を大事に、それから移設に伴って新庁舎にスムーズに移行できる、この3つが兼ね備えられているのは、A案しかありませんので、私は間違いなくA案を提案しますが、これは私のあくまでも個人的な意見ですので、よろしくお願いします。
【 事 務 局 】	委員のおっしゃる通り、ワークショップやこの策定委員会でも検討させていただきました基本理念、方針という大事なポイント、それに加えて、市民ワークショップなど色々なところから出た意見、これらを事務局なりに評価させていただ

	いたところ、「◎、○、△」という表現でつけますと、やはりA案が事務局としても一番いいのではないかとこのところ、◎をつけさせていただきました。 なお、元々の松ですとか、そういった景観を大事にしなければいけないことは景観上の話としても、例えば北庁舎の改修を今後進める上では、トイレなどの既に改修したところはそのまま生かしていきながら、必要な工事を吟味していくということは、なるべくお金もかけないという点で考えていかなければならないと思っていますので、参考にさせていただきながら進めてまいります。
【副委員長】	A案というのは非常に合理的ではありますが、やはり景観上、松並木の背後が駐車場というのが、市民が市役所に来て、目の前が全部駐車場というのが、少し視認性及びシンボル性の観点から見れば、少し格が下がってしまうのではと危惧しています。そういう意味では、A案の△になっている視認性の部分の駐車場・広場等というところに、平屋のようなものかもしれませんが、受けとなるような空間等をデザイン的に、単純に5階建ての鉄骨もしくは木造かわかりませんが、新本庁舎を高層で建てるだけではない、分棟案のようなことも、段階的に施工できるということを想定すると、広場及び駐車場の何台駐車できるかななどを踏まえ、ご検討いただくといいのではないかと感じました。また、設計はプロポーザルかコンペで出されると思いますけれども、その際に設計者などから、もっと素晴らしい案が、A案、B案、C案の更なる発展系の案が出るかもしれませんので、A案だけで提案してくださいというようなプロポーザルにするかどうかは、その辺り注意されるといいかなと思います。 それからもう1つ、この市役所の庁舎の建つ敷地の周りの景観を含め、今まさにできようとしている公園というものが北側にあります。この公園の中にある庁舎であるという認識のもと、あまり周辺に柵などを設けるような形ではなく、全体的に公園の中にある、そのような豊川の風景の中に建つ新庁舎というイメージも将来的には出せるといいかなと感じました。せっかくであれば、この松並木を残すという大切さと、ランドスケープとしての美しさ、そして受けとしての庁舎のあり方のようなことは、どこまでプロポーザル等で示すのかということはあると思いますけれども、ご検討いただけるといいかなと思います。
【事務局】	ゾーニングとして、AかBかCかという表現で、まずはこの場で1つに絞るということをお願いしていますが、その次の段階として、その中でもA案をどう使うとより良くなるのか、お話いただいたように、真ん中に低層棟を建てるなど、視認性ということも含めてですが、防災センターという大事な機能が孤立してし

	まわらないように、新庁舎、北庁舎と一体的に利用できる動線もしっかり確保できるような、現本庁舎の跡地に何かをすることによって課題が克服できるのなら、そのような考え方も当然あるのではと、少しずつですが議論を始めているところ です。考え方については、第5回目の策定委員会でお話ができたらと思います。 また、本庁舎敷地の周りの景観についてですが、今まさに整備している公園が北側にあります。公園と新庁舎が完全に分断されてしまうような作り方というのはいかがなものかということは、他の意見でもいただいております、ワークショップでも一体的な利用についての意見がありました。そのような意味では、公園側に新しくできる芝生広場などとあまり分断しないようなしつらえというのは、設計の中でもそういう課題を提案事項として、設計者からも色々な提案をいただけたらと考えます。お話いただいたように、各ゾーニング案などに限らず、色々な提案が出せるような、提案者が提案しやすい条件づくりを進めてまいります。
【副委員長】	その辺りを検討していくと、駐車場を全部平置きにするのか、2階建ての立体駐車場も計画条件として出てくるのか、設計条件で色々と検討されるといいと思います。
【事務局】	駐車場の台数については、現在の機能に加えまして、音羽庁舎から教育委員会、一宮庁舎から上下水道部が来ることで、今以上に車が集約されることも考えていますので、今の駐車台数でも不足気味という調査結果が出ているところ、更に増えることになります。また、新しい庁舎ができれば、より皆さんが来てみたいなと思ってもらえるような庁舎にしたいのですが、平面だけで足りるのか、立体駐車場も必要なのか、事業費との兼ね合いもありますが、適正な規模の駐車場は確保していきたいと思っています。
【委員】	私も確かにA案が一番いいと思いますが、先ほど副委員長がお話された通り、やはりこのスペース（現本庁舎の跡地）はすごく大きいと思います。今は建物が建っていますが、建物が無くなって全てが北側に移ってしまった場合、姫街道からの動線として、何かしていかないと格好が悪くなるのではないかと感じます。 あと、南側の大きなオープンスペースで、どのようなイベントを考えているのでしょうか。ただ、オープンスペースを作りましたというのではなく、ある程度そういう見込みも考えていかないといけないと思います。 また、駐車場に関しても、今後東海地方も、雨がたくさん降る地域になってくると思いますが、姫街道に近い方の駐車場に停めてから庁舎に行くためには、もちろん屋根ありの駐車場、もしくは屋根ありの動線を作っていないと、色々な

	方々が不自由すると思いますので、完璧なオープンスペースというのをここで考えてしまうと、少し使い難いのかなと考えます。例えば豊橋市役所の前、豊橋公園から豊橋市役所を眺めることがあります、美術館の駐車場に停めて、豊橋市役所に行くような、雨が降った時の動線としては少し遠いとの感覚を持ってしまうので、そのような動線も少し考えていただけたらいいと思いました。
【 事 務 局 】	利用者の利便性というところで、しっかりと動線を確保したいと思います。現在は駐車場に停めてから庁舎内に入るところまで、特に歩道がない状況です。そのようなところは当然設置してだけでなく、雨に対する配慮も検討の1つとして進めていきたいと思います。 あと、オープンスペースの考え方については、例えばおいでん祭であったり、大きなイベントがありますが、新しく色々なスペースができるとそこで何ができるかを考える契機となり、どちらかという後から考えることが多かったというところもあります。このオープンスペースで何をしていくのか、現状、具体的な計画をお示しできるものはありませんが、これからそういうものを作ることによって、どのような活用ができるか、運用を踏まえた広場の作り方について、今後しっかり検討していきたいと思います。
【 委 員 】	ゾーニングについては、工期を短く作る、事業費も抑えられるという方向性、市民の皆さんに迷惑をかけず庁舎を作れるという点で、示された通りでいいと思います。 その中で先ほど委員長がお話された通り、ワークショップの意見、細かい意見も資料に落とし込み、記載できないものは委員の中で消し込んでいく形にしていくと、一番シンプルな形で決まってくると思います。細かいところ言えば、職員ワークショップの保育スペースが欲しいとか、市役所を19時まで開くこととか、現実的にできるのであれば残せばいいですが、駄目なところは消していくといった作業は早くやらないといけません。大変かもしれませんが、ワークショップで出た細かい意見、議会の意見を予め反映していただくと議論がしやすかったのではないかと思います。
【 事 務 局 】	今回も、ワークショップ等でいただいた細かな意見も踏まえて、この策定委員会の下部組織である課長職の職員で構成する庁内検討作業部会で検討してまいりました。策定委員会では時間が限られている中で、より効率的に議論いただくために、どのような資料にすると一番わかりやすくなるかを考えてきましたが、事務局側で少し判断し過ぎたところが多かったという印象を感じられたのだと思い

	ます。これからは、もう少し皆さんで、判断ができるような資料の作り方を検討していきたいと思います。
【 委 員 長 】	実際に市民から出た意見でもできること、できないことも当然あると思うので、そういったことも市の回答として、その都度説明するといいと思いますし、ユニークな意見、いい意見であっても今決められないこともあると思うので、少し残して先送りしていくことでもいいと思いますし、そういう意味合いで削りすぎないという判断もできると思います。
【 事 務 局 】	承知いたしました。
【 委 員 】	松林の件ですが、A案の場合は南東及び一部の中央に位置する松林を保全できるとありますが、何か手が入る予定なののでしょうか。
【 事 務 局 】	具体的に何本残すのか、何本切らなくてはいけないかということは、これから設計の中で検討していきますが、この緑で示した範囲はできる限り残していきたいと考えています。景観と歴史を踏まえた上で、できる限り保全していきたいと思います。ただ、松を切らないことによって、例えば動線であったり、駐車場の確保という点で支障が出てくるところについては、やむを得ず切らなければいけない木も敷地内にあると思いますが、できる限り切らない方向で進めるということを前提として検討してまいります。
【 委 員 】	松林について、A案とC案を比べると、C案の方が勝っているのでしょうか。
【 事 務 局 】	資料4の3ページ目、⑤「誇りと親しみ」のうち、松林についての評価だけ見ますと、ご覧の通りA案が○、B案が△、C案が○となっており、A案とC案で特に差はありません。④「視認性」、⑥「周辺への影響」なども含めて、方針3の全体評価では、C案は◎が1つと○が3つ、A案は◎が1つと○が2つ、△が1つとなっておりますので、C案とA案を比べるとA案の評価が若干低くなっています。
【 委 員 】	駐車場について、ゾーニングによって変わってくると先ほどお話はあったので、まだ具体的な駐車台数についてはお示しいただけないと思いますが、今この図を見ると駐車場が制限されてくるのではないかと思います。今後一宮、音羽の職員もこちらへ来るわけで、職員の駐車場も考えなければいけないと思います。職員の皆さんは、今は周辺の駐車場を借りて使っていると思いますが、昔は図書館のところに職員用の駐車場がありました。それができなくなって、周辺の駐車場を借りることになりましたが、周辺の駐車場はかなり割高です。支所の人は割安な駐車場に停めているということですが、本庁舎に異動すると駐車場料金の負担が

	増えるので、やはり職員の駐車場も考えて欲しいと思いました。 先ほど副委員長が立体駐車場のことに触れました。立体駐車場については、当然事業費のこともあるという事務局の回答でしたが、例えば立体駐車場を作って、平日は職員から利用料をもらって事業費に償還していく、イベントは土日が多いので、土日はイベント用に利用することを考えていいと思いました。
【 事 務 局 】	職員の駐車場の考え方については、私ども財産管理部門だけではなかなか答えが出し難いところがあります。一度持ち帰って、今後の職員を含めた基準のあり方について検討させていただきたいと思います。 現在、市役所の駐車場は当然無料で、市民の方が使いやすく利用されていると思います。仮に立体駐車場を作るとなった場合には、ただ単純に作ってしまうとその分の費用が必要となります。市町村によっては駐車場を有料化しているところもあります。そのようなことも含めた色々な検討をしながら新しい駐車場のあり方について、答えを出したいと思います。
【 委 員 】	ゾーニング関係の資料、先ほどのA、B、C案について、それぞれ「◎、○、△」で可視化されて非常に見やすいと思います。ただ、工期が短いとか、事業費が少ないとか表現が漠然としており、例えばA案で言えばC案に比べて80%で作れるとか、そのような概算値を想定として入れていただけるとわかりやすくなると思います。 あと、ワークショップの参加者が16名だったということですが、世代的にはどのぐらいの世代の方が参加されたのでしょうか。様々ないい意見をいただいた中で、それをどのようにフィードバックして意見を今後につなげていくかという体制づくりが必要だと思いました。
【 事 務 局 】	ゾーニングを検討するにあたってのわかりやすさについてですが、工期とスケジュールについて、もう少し数値化ができると確かに見やすくなると思います。ただ、今実際にどのぐらいの規模の庁舎を作るのか、それに対する事業費が世間では揺れ動いている中でなかなか数字を出すのが難しく、現状のまとめとしては、数値をなるべく使わない形になっていることについて、ご理解いただければと思います。また、今後も回を重ねる中で、スケジュールや事業費、規模などについても、6回目の最終回までにはお示ししますので、改めてその時にご検討をお願いします。 ワークショップの年齢層については、20代から70代の方にご参加いただき、幅広い年代の方のご意見をいただけたものと思います。若い世代の方、親子で参

	加された方もいらっしゃいました。それを今後どのように反映していくのかというところで言いますと、先ほどご質問いただいた通り、今この基本計画に反映する意見と、これから設計段階で反映していく意見と色々あると思います。それらをしっかりと整理して、設計者にも伝えていくようにしっかりとまとめていきたいと思っています。いただいたご意見は、有効に活用していきたいと思っています。
【 委 員 長 】	私も皆様の意見と同じように、A案は妥当だと感じました。ただ、懸念される場所としては、新本庁舎、北庁舎が並列になりますので、端から端まで行こうと思うと、かなり大変な施設になり兼ねないと思います。先ほども意見があったように、例えば中央にセンターハウスのようなものがあって、そこから振り分けて行けるとか、そこに行けば全体の案内ができるとか、そのようなわかりやすさというものをぜひ盛り込んでいただけるといいと思います。 駐車場についても色々ご議論いただきましたが、敷地の手前が全部駐車場で、奥に庁舎がポツンとある感じでは、少し寂しい風景になりますので、ぜひその辺りについても、わかりやすく、かつ景観的にも良くなるような形、立体駐車場についても、無骨な鉄骨が目立ってしまうのもどうかと思いますので、どの程度のコストをかけて駐車場を丁寧に作るかということも大切なところだと思います。ぜひそのような検討もこれから進めていただけるといいと思います。
【 事 務 局 】	承知いたしました。

■(4) その他

次回開催予定日時の調整。後日、再調整。

■(5) 閉会

事務局より、閉会の挨拶。

以上